

令和7年度 地域連携推進会議 会議録

日時：令和7年1月28日(金)

14:00～14:45

場所：もみじが丘 食堂

1. 開会

2. 出席者自己紹介

利用者 1名

家族 1名

地域住民 1名

行政職員 1名

事業所職員 1名

出席者5名全員が自己紹介を行った

3. 委嘱状交付

4. 議題

① 会議の目的・役割…施設と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための会議。

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・施設やサービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護

② 施設の概要

- ・令和3年4月1日「NPO法人あつみ育成会」より引継ぎ運営開始
- ・男性専用グループホーム。定員6名。現在5名入居
- ・30代（2名） 40代（1名） 60代（2名）
- ・職員6人体制。夜間支援なし。通報機を設置している。
- ・協力医療機関（温海クリニック）等

③ 利用者の日常生活の様子

- ・1日の流れを説明
- ・余暇活動（図書館で本を借りる・プランター菜園・散歩・買い物等）
- ・行事（誕生会でリクエストメニューを提供・クリスマス会等）
- ・掃除分担や洗濯入浴順番は日替わりになっていること

④ B C P の策定・避難訓練の状況について

- ・自然災害と感染症を想定したB C P を策定している。
- ・火災訓練、地震津波訓練を実施している。実際に第一次避難場所まで歩いてルート確認をした。
- ・職員がいる場合と不在の場合の2パターンを想定して訓練している。

⑤ 施設見学の感想について

- ・海の近くの施設なのでエアコンなど塩害あって、設備が痛んでくるだろうなと思った。
- ・きれいにしていて過ごしやすいと思った。
- ・周りに空き家が多いと思った。隣の家は、地域でも住んでいるのか、いないのか分からず話題になっている。
- ・地域の中にある施設なので、回りに人の目がある中で過ごさせてもらつて、気にしてもらえているようありがたい。分かってもらうことが大事になると思った。

⑥ 意見交換

○津波の避難場所について。

→昨年1月1日に起きた地震では、冬で夕方だったこともあり、第一避難場所である旧法務局跡地では長時間は寒いと思い、庁舎のアトリウム（旧荘内銀行）を開放し、お茶とストーブを設置した。車のある人は、Aコーポや一霞に避難したようだった。第一避難場所に移動している人たちには庁舎の方が対応してくれるので、訓練通り避難場所に行く。

○自宅に帰る時に、お米や食材調味料など買い物が必要になるが購入先（お店）が近くになくなっている。

→マルシェに相談してみてもよいと思う。他の人もお取り寄せをもらっているようだった。（その後、手数料が100円発生するが、お取り寄せ可能と返事をもらった。）

○夜間の連絡体制について。

→通報機が設置しており、職員4人のスマホに順番に連絡が入るようになっている。

○停電が多い。

→海岸のためか風が強い。冬になると停電が多くなる。オール電化のため、ホッカイロを準備して寒さ対策している。長時間続くようであれば、もみじが丘で過ごしてもらうように石油ストーブやカセットコンロ、布団などを準備している。茶ヤ町荘には防災の観点から灯油は置いていない。もみじが丘の施設と連携して対応していく。

5. 閉会

令和7年度 茶ヤ町荘 施設見学会 会議録

令和7年11月6日（木）15：30～16：00

○参加者

利用者	1名
家族	1名
地域住民	1名
行政職員	1名
事業所職員	1名

離れの部屋→庭→母屋の順でご案内しました。

○庭では、プランターで毎年数種類の野菜を育て成長を楽しみに、水やりや手入れをしてくれている事。先週は落花生を収穫し塩ゆでにして食べ、「初めて食べたけど美味しいの～」と盛り上がったことをお伝えしました。

(感想)

- ・みんなでできることがあって楽しそう
- ・収穫したものが食卓に並ぶのはいい

○夕食の準備をしているところを見ていただきました。

(感想)

- ・美味しいそう
- ・毎日の献立決め大変なところ、ご苦労様

○AED や消火器、非常袋など緊急時の備品を見ていただきました。

(感想)

- ・玄関にひとまとめになっていてわかりやすい

○事業所周辺を見回していました。

(感想)

- ・空き家が多くなっている

等、利用者さんや職員とお話をしながら見学していただきました。

